





エペソ 4:30 かみ せいれい かな 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、あがな ひ贖いの目のために、せいれい しゆういん お聖霊によって証印を押されているのです。

## イエスさま、さいこう！

ひとつずつ年をとりながらからだはますます大きくなるのに、かんが考えと行動はあいかわらず小さいままの人が多です。からだは成長するのこころ かんがに、心と考えは成長することができなくて、その場で止まってしまったのです。ちい小さくてもおお大きくても、こころ きず心に傷を持って**いれば霊的な成長が止まります。**結局は、けつきよくゆがんだ感情のゆえに混乱してしまいます。混乱するようになると、かんが考えと心、はんだん判断、せいかつ生活が揺られて、ほか他のものに執着するようになります。どのようにしなければならぬのでしょうか。

かみさま やくそく こころ かんが神様の約束を心と考えにぬりましょう。そうせいき しょう せつ しゆつ創世記3章15節と出エジプト3章18節、そしてエペソ4章30節に出てくるみことばを心にぬります。「サタンの頭を踏み砕かれたイエス様が、いま私の中におられる!」「地獄と悪魔の手から私を救われたイエス様の血が、いま私の心にぬられている!」「神様は私に神様のものだとほんこを押してくださった!」この事実を信じなければ神様を悲しませるのです。かみさま神様のみことばを心こころにぬれば、と止まっていた霊的な身長が**育ち始める**でしょう。イエス様、最高！

### 3 Today

きょうの いのり

きょうの てんどう

きょうのみことば

1へん143

いかに 1しゅう かみさまのみことばをよもう!

ていこくかみさまに せいのうした チェックしよう

**せいこく 100** こをおぼえよう 15

神様は人間を愛して、罪とのろいに陥った人間を救うために、イエス様を送って下さいました。イエス様は人のからだ(肉体)で来られたキリストです。ヨハネ 1:14 をいっしょに見えましょう。キリストであるイエス様がいま私たちとともにおられることを熱望しましょう。

ことばは \_\_\_\_\_ となって、私たちの間に住まわれた。\_\_\_\_\_ はこの方の \_\_\_\_\_ を見た。父のみもとから来られた \_\_\_\_\_ としての栄光である。

この方は恵みと \_\_\_\_\_ に満ちておられた。

福音書 1 章 \_\_\_\_\_ 節

ひと まこと わたしたち ヨハネ 14 えいこう ひとりご

かみさま ちい 神様、小さなことにもよく引かかるのは、心の傷のためです。心に傷を抱えているなら、思いと心が育ちません。毎日、神様の約束を心と思いにぬって、すてきに成長したいです。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン



I サムエル 3:1~21 少年サムエルはエリの前で主に仕えていた。そのころ、主のことばはまれにしかなく、幻も示されなかった。(1)、サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とされなかった。(19)

## かみさまがくださったプレゼントに しゅうちゅうしよう

神様がきれいに包装したプレゼントをくださいました。色とりどりのきれいな包装紙に、かわいいリボンをかけたプレゼントです。ところで、包装紙を開くこともせず、机の上に置いていただけではないでしょうか。

監獄に閉じ込められていた「ヨセフ」は、毎日そのプレゼントをのぞいて見ながら幸せに思っていました。両腕と両足がない「ニック・ブイチチ」も、包装紙を開けてプレゼントを見て幸せに思いました。今は全世界を巡りながら多くの人に自分が受けた神様のプレゼントを分けてあげています。

そのプレゼントは、神様に会いに行くことができ、神様と交わることができて、心を神様でいっぱいに行うことができる「イエス・キリスト」です。ニック・ブイチチは、さびしくて、苦しくなる時ごとに、このプレゼントを毎日のぞいて見て神様に集中しながら祈りました。両腕と両足がないのですが、神様の御声と計画を発見して、この世でどのように生きなければならないのか方向を見つけました。今は数多くの子どもたちが「ニック・ブイチチ」を通じて神様のプレゼントを受けて、力を得ています。私が受けた神様のプレゼントに深く集中してみましよう。

### 3 Today

きょうのみことば

144

144に1と3のかみさまのみことばをよもう!

きょうのいのり

きょうの でんどう



でいこくかほかにせいこうしたらチェックしよう

キム・ナンハぼくしせんせいとともに

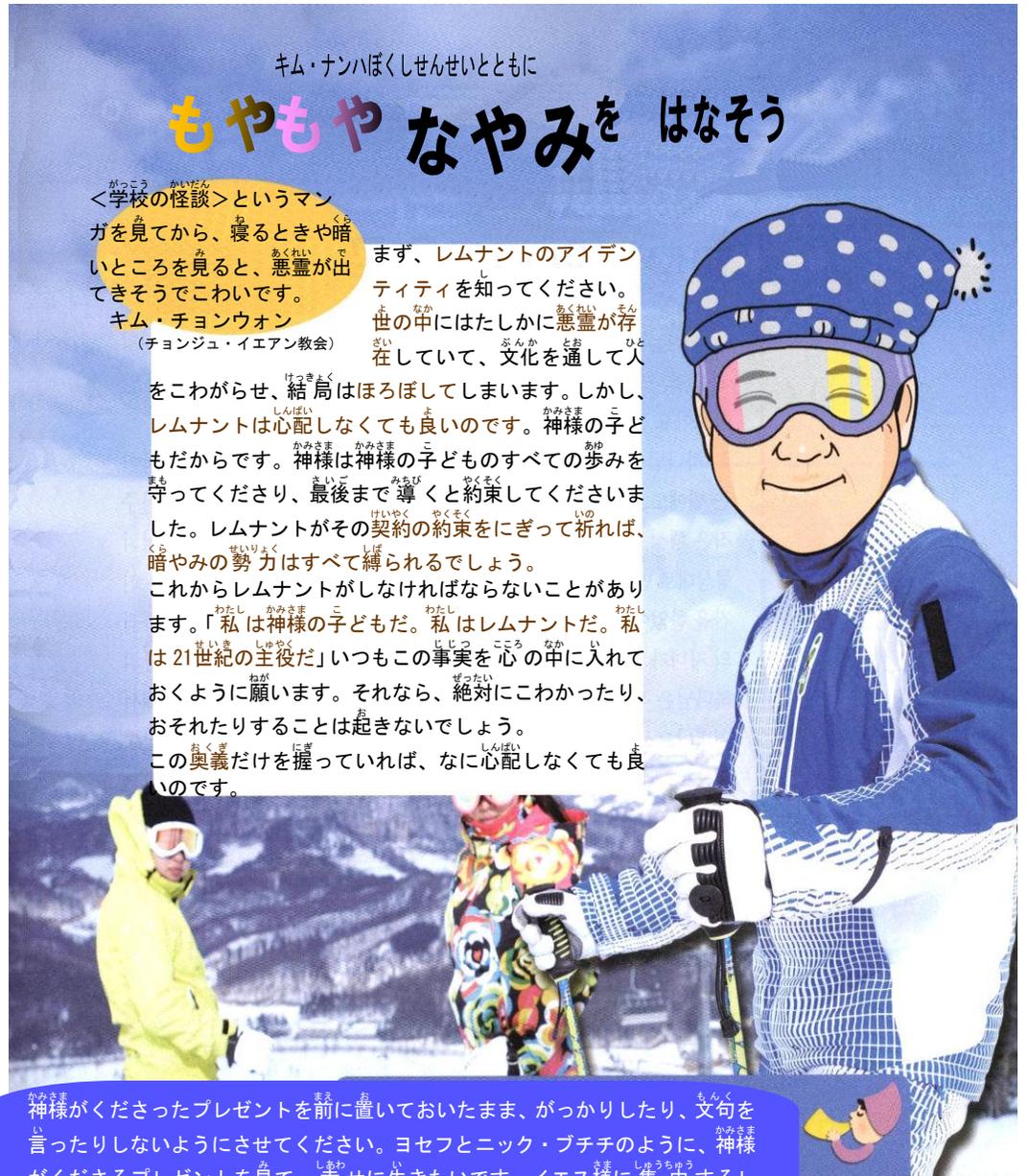
## もやもや なやみを はなそう

<学校の怪談>というマンガを見てから、寝るときや暗いところを見ると、悪霊が出てきそうでこわいです。

キム・チョンウオン  
(チョンジュ・イエアン教会)

まず、レムナントのアイデンティティを知ってください。世の中にはたしかに悪霊が存在していて、文化を通して人

をこわがらせ、結局はほろぼしてしまいます。しかし、レムナントは心配しなくても良いのです。神様の子どもだからです。神様は神様の子どもすべての歩みを守ってくださり、最後まで導くと約束してくださいました。レムナントがその契約の約束をにぎって祈れば、暗やみの勢力はすべて縛られるでしょう。これからレムナントがしなければならぬことがあります。「私は神様の子どもだ。私はレムナントだ。私は21世紀の主役だ」いつもこの事実を心の中に入れておくように願います。それなら、絶対にこわかったり、おそれたりすることは起きないでしょう。この奥義だけを握っていれば、なに心配しなくても良いのです。



神様がくださったプレゼントを前に置いておいたまま、がっかりしたり、文句を言ったりしないようにさせてください。ヨセフとニック・ブイチチのように、神様がくださるプレゼントを見て、幸せに生きてみたいです。イエス様に集中するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



申6:4~9 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。これをするとしてあなたの手に結びつけ、記事として額の上に置きなさい。(7~8)

## かみさまの しせんが わたしの ほうこう

神様はなにを見られておられるのでしょうか。神様の心はなにでいっぱいになり満たされているのでしょうか。神様はどこに最も多くの関心を持っておられるのでしょうか。いっしょに見てみましょう。

神様は広大で美しい宇宙に心を向けられませんが、輝く星にも、うっとりする天の川にも、神様はまったく関心を持たれません。とても小さい惑星である「地球」に神様の目が留まっています。地球では神様のかたちに造られた人間にだけ神様の目が留まっています。神様は人間をかぎりなく愛されます。ところで、人間が神様を離れた罪人になって、悪魔の子どもになりました。最後には地獄でかぎりない苦しみを受けます。愛の神様は、直接人間になって人間のすべての罪を負われました。十字架で処刑され、三日後によみがえられました。この方がイエス様です。神様は、この事実を伝えるレムナントを探していらっしゃいます。また、レムナントが「今日」を最高の日にしながら生きることを望んでおられます。このことに祈り挑戦するレムナントになりましょう。「私は神様の愛をいっぱい受けるレムナントだ」と告白してみましょう。

3 Today

きょうの いのり

きょうの でんどう

きょうのみことば

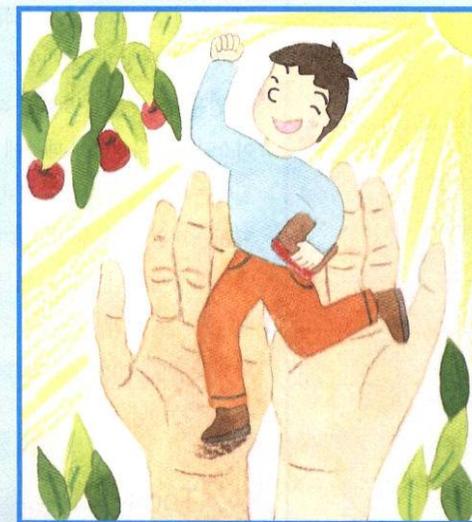
145

いちにち、1しゅう かみさまの  
この日を まもろう!

ていこくはにんげん せいこうした  
チェックしよう

## まちがい さがし

神様が私をどれほど愛してくださっているか知っているでしょう。神様の愛を黙想しながら、下の絵のちがうところを見つけましょう。ちがうところは5つあります。



神様の関心が私にあることを感謝します。神様の愛をいっぱい受けているレムナントであることを知ることができて幸せです。ダビデのように今日を最高にするレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっていのりします。アーメン





しん 申6:4~9 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。(4~5)

## レムナントよ、たちあがろう！

ダビデ王の息子ソロモン王がエルサレム神殿をたてました。ダビデの願いは、神様に思いきり礼拝をささげる神殿を作ることでしたが、息子ソロモン王の時に神殿がすばらしく立てられたのです。エルサレム神殿をすべて立てて神様に初めての感謝礼拝をささげた日、イスラエルにはあふれるほどの感激と感動の波が起きました。泣かない民がないほどすべての民の心がイエス・キリストを愛する信仰によって燃え上がりました。しかし、それから100年ほどしか過ぎない間に、イスラエルは、偶像崇拝のために二つの国に分かれてしまいました。アハブ王の時期には、イスラエルの人の中心にますます偶像に仕える文化がぎっしり埋まりました。バアルとアシエラをおがむため、偽りの預言者が850人もいるほど、イスラエルは偶像に崩れました。おとなの信仰がレムナントに正しく伝えられなかった結果でした。それで、神様は次の世代に福音を伝えるレムナント運動を切実に願っておられます。レムナントが集まる RUTC が立てられる所に神様がいちばん大きな答えをくださるでしょう。

3Today

きょうのいのり

きょうの でんどう

きょうのみことば

しん146

いちにち、1しゅう、かみさまのみことばを、よもう！

でいにくれいばに せいこうしたる チェックしよう

2012. 8. 4 (核心訓練メッセージ)



父なる神様。信仰のバトンをよくつなげることができるよう。私と私の次の世代は偶像崇拝をしませんように。RUTCを通してレムナント運動が全世界に起きるようにさせてくださって、神様に大きな栄光をささげさせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



おはなし もくそう

# ひみつの どうくつ



探検家のミッシェルは、多くの人が探検して死んでいった秘密の洞窟の前に立っていました。洞窟の中には毒ガスが広がっているの、生き残る人がないというわさがありました。ミッシェルは、必ず洞窟の秘密を明らかにすると心に決めました。しかし、洞窟に入ろうとしたときに、ミッシェルが行こうとする道を防いだまわりの人の話を思い出しました。

「あそこに入ったら、だれも生きて帰って来ない」

「あそこにいる大きな怪物が毒ガスを吹くのだ」

「あそこが地獄だということもある」

ミッシェルは恐れをふりはらおうと他のことを考えたのですが、効果がありませんでした。恐れのために洞窟の前にじっと止まっていた。ミッシェルは、注意深く盾と刀を握って、一歩ずつ秘密の洞窟に入りました。洞窟に入るほど、ますます暗くなって、まわりの音が消え始めました。ミッシェルは、そこでろうそくのあかりをつけました。ろうそくのあかりをつけた瞬間、ミッシェルは悲鳴をあげてしまいました。自分の前におびえた女の人がひとり悲鳴をあげていたからです。ミッシェルは恐れに気を失いそうでした。その瞬間、秘密をあきらかにしなければならぬという思いがもっと生まれました。そして、前にいる女の人をよく見てみたのです。

### 3 Today

きょうのいのり

きょうの でんどう

きょうのみことば

いん147

いん147の1ページ目、2ページ目、3ページ目をチェックしよう

📄📄📄 どのページも、ぜひチェックしよう

その女の人も、ミッシェルをじっと見ていました。ミッシェルがその女の人に近づいたら、その女の人もミッシェルに近づいてきました。暗いろうそくのあかりでよく見たら、それは鏡に映ったミッシェル自身でした。そこで、ミッシェルは洞窟の中で、なぜ人が死んだのかわかりました。それは、恐れだったのです。恐れる心につかまると、鏡に映った自分の姿を見て、こわくて死んでしまうのです。

なにかこわいことがありますか。  
イエス・キリストは、すべてに勝利されました。恐れる相手はいません。  
おそれる心だけがあるのです。  
いちばんよいことをくださる神様の計画を信じて、おそれを捨てさりましょう。

